



中央小だより ザウルス通信

第7号

令和7年 9月 3日
発行責任者 神山 直樹



ザウルスキッスの合言葉

「考える」… しっかり「考える」本気ザウルス
「やりぬく」… とことん「やりぬく」根気ザウルス
「助け合う」… 心から「助け合う」勇気ザウルス

心を整えて～子供たちの元気な声が戻ってきました！～

44日間の長い夏休みを無事終え、今週から授業が再開しました。休み中、とても静かだった学校に、子供たちの元気な声が戻ってきました。

今年の夏は、例年以上に厳しい暑さ、強い日差しや雷を伴う急な降雨など不安定な天候の日が多く、思うように外で遊んだり活動したりすることができなかったかもしれません。それでも、休み明けに久しぶりに顔を合わせた子供たちは、一回りたくましくなったように感じます。



夏休み明けの全校朝会では、まずは第1学期終業式を目指し、「しっかり食べて、元気に遊んで、一生懸命勉強して、しっかり寝て」という生活リズムを基に、「心を整えて、みんなで協力しながら生活しよう」と子供たちに呼びかけました。

引き続き、保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力の下、全教職員が心と力を合わせ、子供たちの指導支援に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



P T A親子奉仕活動

夏休み終盤の8月24日（日）に、P T A親子奉仕活動が行われました。

朝の早い時間帯にもかかわらず、お子さんと一緒に多くの保護者の皆様にご参加くださり、校舎内の窓ふき、トイレや水道

など、普段の清掃活動では、なかなか手が回らない箇所をととてもきれいにしてくださいました。

大変蒸し暑い中であつたにもかかわらず、積極的に作業を進めてくださった保護者の皆様、一緒に参加してくれた子供たちに心より感謝申し上げます。また活動にかかる準備・運営にご尽力いただいたP T A執行部、事業研修部の皆様、大変お世話になりました。

皆様のおかげで、夏休み明けの学校生活を気持ちよくスタートすることができました。本当にありがとうございました。



9月は「いじめゼロ強調月間」

本校では、今年度は「助け合う」ことを特に意識し、「自分がされていやなことは 人にしない 言わない」をみんなの約束として学校生活を過ごしています。

特にこの9月は、5月に続いての「いじめゼロ強調月間」。教室や廊下への「いじめゼロ強調スローガン」の掲



示、学校生活にかかるアンケート調査の実施などを通して、いじめの早期発見・早期解決に努めてまいります。

また、今月下旬の「ザウルスタイム」(縦割り班活動)では、班ごとに仲良し目標を決めて楽しく活動する機会を設け、10月以降に城址公園で行う縦割り班遊びに向けて、6年生を中心に準備を進めていきます。

子供たちはもとより、私たち教職員を含めて「いじめは絶対にしない 負けない 許さない」という意識の醸成・高揚に取り組んでまいります。

安全第一で！「子ども自転車免許事業」



夏休み明け初日の9月1日(月)の3時間目に、宇都宮市生活安心課の職員の方が来校され、体育館で4年生の「子ども自転車免許事業」を行いました。

基本的な交通ルールやマナーを確かめた後、実際に自転車に乗ってコースを走りながら、一人ずつ安全な自転車の乗り方を教えていただきました。子供たちは、安全確認の必要性やヘルメット着用の大切さなどについて理解を深めることができ、全員に「免許証」が授与されました。

今回学んだことを生かし、これまで以上に「自分の命は自分で守る」という強い意識をもって、学校内外、特に放課後や休日に安全に楽しく過ごしてほしいと思います。



一人一台端末(クロームブック)について

宇都宮市から児童生徒に貸与されている一人一台端末(クロームブック)につきまして、本校では、これまで臨時休業や出席停止時における対応、活用機会の拡大等を目的に、各ご家庭で専用充電器を保管し、毎日端末を家に持ち帰るようにしておりました。

しかしながら、児童の負担軽減に向けた登下校時の携行品の在り方、持ち運び時における破損・故障等のリスク削減をはじめ、学校・学級休業の可能性の低下など、現状を踏まえた見直しを再度行い、8月29日付け通知のとおり、「必要に応じて持ち帰る」ことに変更することにいたします。

それに伴い、今後は専用充電器を学校に置き、一人一台端末(クロームブック)の持ち帰りは、家庭学習等で利用する場合など必要に応じてといたします。(夏季・冬季、学年末・始めの長期休業期間は、端末と専用充電器を家に持ち帰り、使えるようにします。)

今後とも、様々な学習活動において、端末のよさを生かした活用に取り組んでまいります。